

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1	交通需要推計手法（4段階推定法）の概略手順																						
	(1) 生成交通量の予測 ①																						
	人口一人あたり、一日何回移動するかを予測する。																						
	(2) 発生・集中交通量の予測																						
	交通がどこで発生しどこへ集中するかを予測する。																						
	(3) 分布交通量の予測																						
	どこからどこへの交通量を予測する。																						
	(4) 分担交通量の予測																						
	自動車や鉄道など、どの交通手段をどのくらい利用するかを予測する。																						
	(5) 配分交通量の予測																						
	どの交通手段のどの経路をどのくらい利用するかを予測する。																						

① 国交省の「将来交通需要推計手法（道路）」では、「人の移動（乗用車）と物の移動（貨物車）について生成交通量を推計したのち、発生集中交通量、分布交通量、配分交通量を推計する」とあります。物の移動についても言及すべきだと考えます。

2	4段階推定方法の課題と留意点																						
	(1) 課題 ②																						
	・各段階のモデル③が複雑化していてデータの収集からモデルの作成と適用に一連の需要推定プロセスに要する作業や費用が膨大になる。																						
	・モデルの各段階相互のフィードバックが不十分でそれらの間の整合性が取れていない。																						

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

- ② 記述されているものは、問題点です。問われているのは課題です。
- ③ モデルがどのようなものなのかの説明がないので何をさしているのか分かりません。手順でモデルについて言及すべきでしょう。

(2) 留 意 点

- ・ ネットワーク ④ の設定については、現況に加え、事業化済みの箇所を考慮する。
- ・ 有料道路事業の認可を受けた事業については、有料道路を前提とする。以上

- ④ これもモデルと同じです。ネットワークの説明がありません。